

「ICT地域活性化大賞2016」表彰事例の発表 ～ 近畿管内の2事例が奨励賞に決定 ～

総務省は、「ICT地域活性化大賞2016」表彰事例の募集を平成28年11月16日から12月15日まで行い、全体で104件の応募がありました。

これらについて審査を実施した結果、近畿総合通信局管内からは、奈良県葛城市の「ママスクエア葛城店 ～テレワークを活用した母親雇用創出事業～」及びTime Age株式会社の「名勝仁和寺の文化財保護保全を目的とする無線LAN整備事業」の2事例が、奨励賞に決定しましたのでお知らせします。

1 「ICT地域活性化大賞2016」の概要

総務省では、地方が抱える様々な課題（人口減少、少子高齢化、地域経済の衰退、医師不足、災害対応等）を解決するため、それぞれの地域において自律的な創意・工夫に基づくICT（情報通信技術）を活用した様々な優れた取組を広く募集し、表彰を行うこととしています。

2 応募状況

応募総数 104件（全国）

3 表彰事例

「ICT地域活性化大賞2016」として、近畿総合通信局管内における事例からは、以下の2事例について表彰が決定されました。

○奨励賞

「ママスクエア葛城店 ～テレワークを活用した母親雇用創出事業～」
（奈良県葛城市）

《 受賞内容 》

葛城市は、全国と比較して結婚・出産を機に離職する女性の割合が高いが、就労を希望する女性も多く存在している。そこで、育児を行う母親が大きな負担なく働ける環境として、キッズスペースとワーキングスペースを併設したサテライトオフィス「ママスクエア葛城店」を開設し、市内在住の母親が子育てしながら働ける環境を整備した。

○奨励賞

「名勝仁和寺の文化財保護保全を目的とする無線LAN整備事業」
（Time Age株式会社（京都府京都市））

《 受賞内容 》

京都にある世界遺産の仁和寺境内に無料の無線LAN（Wi-Fi）スポットを複数か所設置し、観光客が各自のスマホ等でログイン認証した際、仁和寺の歴史や文化情報と同時に、広告・宣伝を表示する。広告主からの広告収入を、文化財保護保全目的で仁和寺に寄付還元する。観光客の増加により広告収入も増え、

文化財保護費用の確保が可能となる。

4 表彰式

表彰式は、平成 29 年 3 月 7 日（火）に東京都内で開催されるシンポジウム「地域 ICT サミット 2016」において実施される予定です。

関連報道資料

- ・「ICT 地域活性化大賞 2016」表彰事例の発表（平成 29 年 2 月 24 日）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000137.html
- ・シンポジウム「地域 ICT サミット 2016」の開催（平成 29 年 2 月 17 日）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000136.html
- ・「ICT 地域活性化大賞 2016」表彰事例の募集（平成 28 年 11 月 16 日）
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000126.html

<連絡先> 情報通信部 情報通信振興課 (担当：中野、山崎) 電話：06-6942-8520
--